



テクニカル・メッセージ

日野車 フロントハブベアリングの組付傷防止の作業について

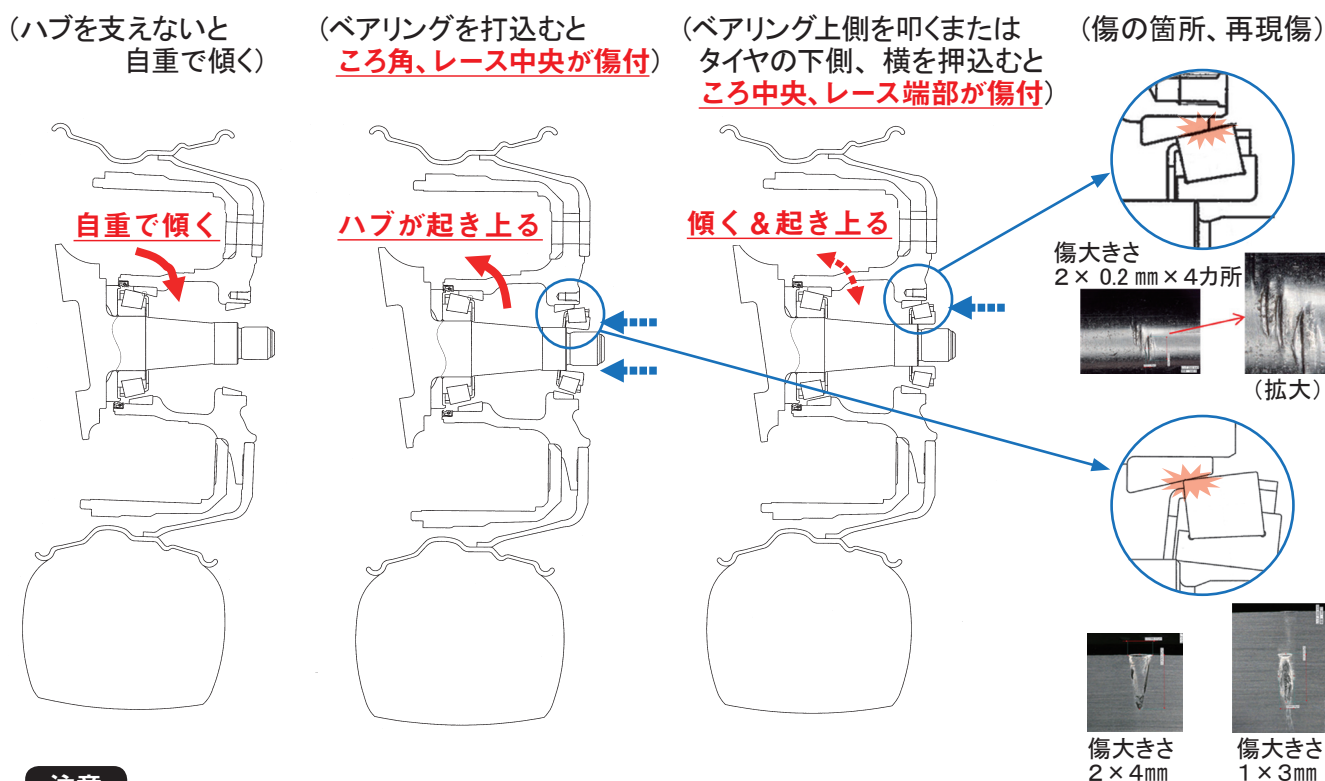
日野車のフロントハブベアリング分解整備時のアウターベアリング組付傷による焼付きが発生しています。アウターベアリング打込み時のセンター出し及び、ベアリングのころに荷重がかかっていないことを下記により確認し、傷を付けない作業を行ってください。下記の説明は、大型車の例で記載しています。

■ 対象車両

全車

■ フロントハブ アウターベアリング打込み時の傷付パターン（フロント車輪断面図で説明）

下記のように、センターが出ていない状態で、ベアリングのころに荷重がかかったまま打込むと、ベアリングのころとレースに傷がつきます。

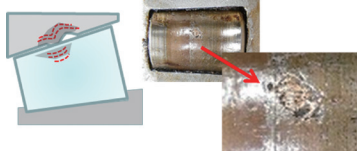


注意

ハブ、ドラム、ホイール&タイヤが自重(大中型車で約100~200kg)で傾いた状態でアウターベアリングを打込むと、ころに過大な荷重がかかりベアリングが傷付きます。

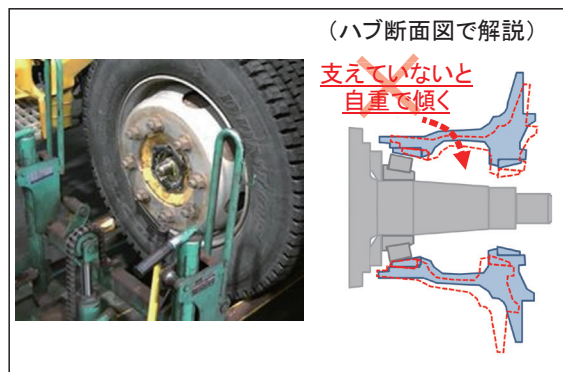
■ ベアリングの打込み傷付は、なぜダメなのか

ポイント



フロントハブベアリングは、ころとレースの線接触で前輪にかかる高荷重を高速回転で支えています。ベアリングのころ、レースの転動面に組付け時の傷(凹凸)があると、早期剥離、焼付に至り、脱輪や車両火災などの重大事故を引き起こす可能性がありますので、傷を付けない作業を行ってください。

■ ハブ、ドラム、ホイール&タイヤの取付（ハブベアリング組付傷防止の作業）



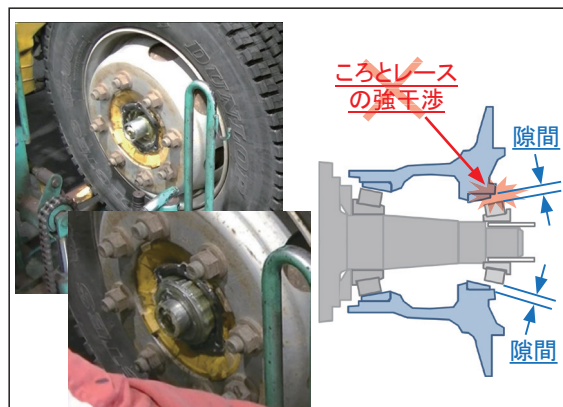
【手順1】

ハブ、ドラム、ホイール&タイヤをホイールドローリーで支えて、ナックルスピンドル部とのセンターを合わせ奥まで押し込む。



ポイント

後でホイールドローリーで支えた状態でアウターハブベアリングの打込む作業を行うことを前提に、車輪のリフトアップ高さ、タイヤとホイールドローリーの間隔を調整し、予め打込み作業のスペースを確保しておく。

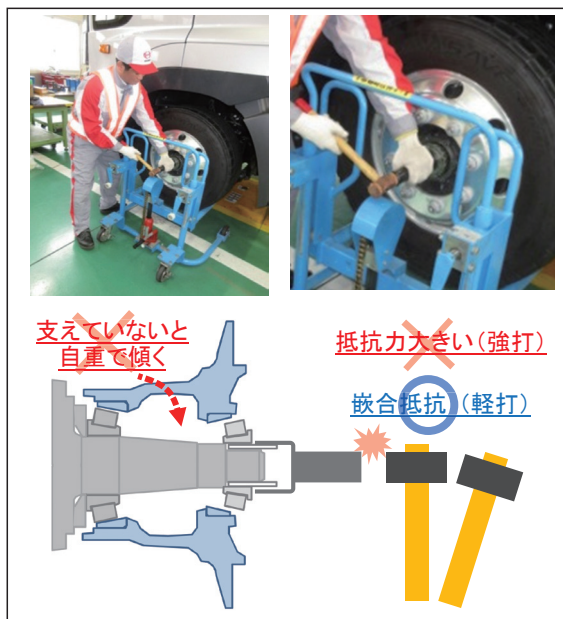


【手順2】

インストーラーガイドをスピンドル先端のねじ部に装着し、アウターハブベアリングを奥(嵌合の端部)まで押し込む。ベアリングのころとハブに組込まれたアウターレースに隙間があることを確認し、干渉している場合にはスピンドルとのセンター合わせを行う。

注意

ころとアウターレースが干渉した状態で打込むとベアリングが傷付きます。



【手順3】

ホイールドローリーで支えてセンターが合った状態でインストーラープレスフィットを用い、アウターハブベアリングをスピンドル嵌合部分に軽打で打込みます。

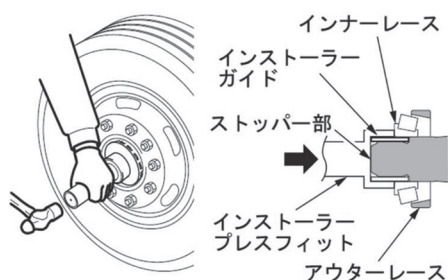
注意

- ・打込みの抵抗力が大きい(増大)場合には、ころとアウターレースが干渉、荷重がかかっている場合がありますので、ころとアウターレースの隙間を確認し、センター合わせを行ってください。
- ・予めころとレースが干渉していない正常な打込み打感(アウターハブベアリングのインナーレースとスピンドルの嵌合抵抗)を習熟してください。
- ・ホイールドローリーがない場合には、1人がタイヤの傾きを支えセンターを合わせながら、他の1人が打込みを行うこと(2人作業で行う)をお奨め致します。

■ 大型車用特殊工具の設定について



ポイント



- ・大型車用のアウターハブベアリング打込み用の特殊工具(インストーラーガイド部品番号:09608-E1080、インストーラープレスフィット部品番号:09608-E1071)を設定していますのでご利用ください。購入は最寄りの日野販売会社にお問い合わせください。
- ・上記の作業は、大型車の特殊工具を使用した場合の手順で記載していますが、特殊工具を使用しない場合でも、センター合わせは確実に行ってください。